

■大岡昇平 作家。〈敗戦〉直後から没するまで、出征体験を据えた作品を軸に、見識ある創作活動と生き方を示した。

おおおかしょうへい

伊藤博文暗殺1909＝ 東京牛込生れ。

明治天皇没・1912＝ 3歳：

本格政党内閣1918＝ 9歳：

べんじん条約・1919＝10歳：この頃、従兄に勧められて(赤い鳥)に童謡を投稿、入選。

大暴落・・・1920＝11歳：父が第一次大戦後の株暴落で儲け、仲買店を開く。

原敬首相暗殺1921＝12歳：青山学院中等部に入學。一時キリスト教の感化を受ける。

治安維持法・1925＝16歳：成城中学に編入。

日本時代始・1926＝17歳：成城中学が高校になり、そのまま進学。

金融恐慌・・・1927＝18歳：

共産党事件・1928＝19歳：_フランス語の家庭教師となった小林秀雄を通して中原中也、河上徹太郎らと知り合った。

世界恐慌・・・1929＝20歳：成城高校を卒業。京都帝国大学文学部に入學。中也、徹太郎らと同人誌「白痴群」を創刊。

海軍軍縮条約1930＝21歳：母が死去。「白痴群」廃刊。

満州事変・・・1931＝22歳：満州事変が起こり、父が株暴落で破産。

五一五事件・1932＝23歳：京大フランス文学科卒。_ジッドの「スタンダール論」を訳出。

帝人疑獄事件1934＝25歳：国民新聞者に入社。

芥川直木賞始1935＝26歳：退社して、「スタンダール選集」を編集。

二二六事件・1936＝27歳：_「スタンダール論」を発表。

日中戦争始・1937＝28歳：父が死去し、家産を整理。中也死去。

健保+総動員 1938＝29歳：帝国酸素に翻訳係として入社。同人誌「鞭鞭」を創刊。

第二次大戦始1939＝30歳：「スタンダール」。帝国酸素社員と結婚。

日米開戦・・・1941＝32歳：長女誕生。「ハイドン」。営業部の課長代理となる。

・・・1942＝33歳：「スタンダール伝」。神戸支社長補佐。

創価学会検挙1943＝34歳：帝国酸素を退社し、川崎重工業に入社。長男誕生。

年金+総武装 1944＝35歳：東京事務所へ単身赴任。「スタンダール論」。「応召出征、フィリピンのミンドロ島に赴く。

敗戦・・・1945＝36歳：_フィリピン戦線でアメリカ軍の捕虜となりレイテ島に収容される。敗戦で帰還し、家族の疎開先に着く。

新憲法公布・1946＝37歳：_この経験を書いた短編「俘虜記」を完成。「野火」を書き始める。

新憲法施行・1947＝38歳：「中原中也詩集」を編集刊行。

極東裁判決・1948＝39歳：*「俘虜記」を発表して文壇に登場。「恋愛論」「パルムの僧院」翻訳。

三大事件・・・1949＝40歳：_「俘虜記」が横光利一賞。

朝鮮戦争始・1950＝41歳：_次いで禁欲的な恋愛小説「武蔵野夫人」、

独立回復・・・1951＝42歳：「新しき俘虜と古き俘虜」「来宮心中」。「戦場での神と人肉食の問題を取りあげた「野火」を発表し、

メデー事件・1952＝43歳：「母」「詩と小説の間」。*読売文学賞。戦後文学を代表する作家の一人となる。

TV放送始・・・1953＝44歳：ロックフェラー財団の特別給費生となり、渡米して、エール大学研究生となる。

自衛隊発足・1954＝45歳：「化粧」。ヨーロッパを廻って帰国。

55年体制始・1955＝46歳：「酸素」、

なべ底不況・1957＝48歳：「野火」が英・米。伊で翻訳される。

インスタントマン・1958＝49歳：「朝の歌・中原中也伝」。「富永太郎の手紙」で自己の青春に影響を及ぼした詩人たちの生涯を描き、

安保闘争・・・1960＝51歳：「夜の触手」、

タイタ病始・1961＝52歳：井上靖との間で「蒼き狼」論争。「花影」で無垢な女性の死を描き、毎日出版文化賞、新潮社文学賞。

全国総合計画1962＝53歳：「逆杉」。評論「常識的文学論」。ソビエト作家同盟の招待で訪ソ、ヨーロッパを廻って帰国。

TV宇宙中継始1963＝54歳：敗軍の将を主人公とした歴史小説「天誅組」、

東京リビック 1964＝55歳：中国作家協会の招きで訪中。

大学紛争始・1965＝56歳：「将門記」を発表。

美濃部都知事1967＝58歳：「中原中也全集」刊行開始。

全共闘ビーク 1969＝60歳：「ミンドロ島ふたたび」、

大阪万博・・・1970＝61歳：「戦争」、

トルビック・・・1971＝62歳：「定本富永太郎詩集」。*大作「レイテ戦記」を完成した。これは大岡文学の特徴である明晰な思考、精緻な考証、鋭利繊細な人間省察、そして古典的な倫理意識が渾然一体となって表現された秀作である。同年、芸術院会員に推されたが辞退。

日中国交回復1972＝63歳：「レイテ戦記」が毎日芸術賞。

石油ショック1973＝64歳：「幼年」「萌野」。「大岡昇平全集」刊行開始。

角栄金脈辞任1974＝65歳：「天誅組」刊。「中原中也」が野間文芸賞。

クランブール事件1975＝66歳：「子規全集」を監修。自伝小説「少年」、

田中角栄逮捕1976＝67歳：評論「文学における虚と実」などで独自の見識を示している。_戦後文学への貢献により朝日文化賞。

JALハイジャック・1977＝68歳：裁判小説「事件」などがある。心不全などで入院。

成田衝突・・・1978＝69歳：「事件」が日本推理作家協会賞。

革新大敗北・1979＝70歳：「雲の肖像」、

貿易摩擦問題1980＝71歳：「ハムレット日記」、

・・・1981＝72歳：「成城だより」、

中曽根内閣・1982＝73歳：「ながい旅」。「大岡昇平集」刊行開始。

デイズ・エラント 1983＝74歳：小林秀雄が死去。「成城だよりII」、

・・・1984＝75歳：「姦通の記号学」「二つの同時代史」「ルイズ・ブルックスとルル」、

バブル始・・・1986＝77歳：「成城だよりIII」、

竹下内閣・・・1987＝78歳：「証言その時々」、

リクルート事件・1988＝79歳：「小説家夏目漱石」。*脑梗塞により没した。遺志により葬儀・告別式は行われなかった。